

フジ住宅 郊外高齢者アパート提案

フジ住宅は十一月から一り上げて入居者を集め大阪府と和歌山市で土地所有者に対し、単身高齢者向け賃貸アパートの建設提案を始める。アパートはフジ住宅が一括で借

り上げて入居者を集める。駅からの近さなど立地条件へのこだわりが低い単身の高齢者が集まるアパートを提案すること。で、郊外遊休地の建設需要を掘り起こす。提案するのは一棟三十室の木造二階建て住宅で、標準的な建設費は一億七千五百万円。フジ住宅が一括して借り上げ、

賃料収入の一部を土地所有者に投資利回りとして支払う仕組み。初年度は二十棟、三十五億円の受注を目指す。

医療機関や介護施設との連携によりトラブルに二十四時間対応できるサービスをつけることで見守りや介護が必要な高齢者にも住みやすい環境を整える。賃料に加え食費や介護サービスなどを合わせた入居者の月額負担は十二万円前後になる。

厚生労働省は社会保障費を抑制するため高齢者向け療養病床の削減方針を打ち出しており、大和総研の試算では二〇一四年度に約二百万人分の介護施設が不足する見通し。フジ住宅はこれまで入居者が集まりにくかった郊外でも高齢者向けに特化すれば需要が見込めると判断した。